

南砺市井波地区における「地域BWA(4GLTE)」と「メッシュWi-Fi」
を活用した観光Wi-Fi実証事業について

南砺市観光協会井波支部（富山県南砺市山見956-1、支部長 蓮沼 晃一、以下観光協会）並びにとなみ衛星通信テレビ（株）（富山県南砺市八塚568-2、代表取締役 河合 常晴、以下TST）は、南砺市井波地区において、地元観光協会や各種団体と連携し、下記の概要で観光客向けのWi-Fiの実証事業を実施いたします。

記

期 間： 2019年9月20日～2019年11月末日（予定）

場所詳細： 南砺市井波地区観光協会周辺にWi-Fi機器3台 別紙地図参照

背 景： 背景として観光地でのWi-Fi環境整備は進んでいる状況ではあるものの、1つのWi-Fi機器に対して、1つのインターネット回線が必要なことによるランニングコストの課題やハンドオーバーができない機器での利便性への課題などが浮き彫りになってきております。（TSTが提供する既存観光地向けWi-Fiにおいても）

特 徴： 当社のサービスにおいても従来は、1つのWi-Fi機器に対して、1つのインターネット回線が必要とされてきましたが、今回の実証実験では「メッシュWi-Fi」を活用することにより、最大4台までのWi-Fi機器を1つのインターネット回線で接続し、インターネット回線数の低減（＝回線利用料金の低減）を図ります。
また、メッシュWi-Fi機器の特徴である親機1台と子機3台の連携機能により、機器Aの電波範囲から機器Bの電波範囲に移動した場合でも、同一SSIDに再度パスワード入力や接続確認への承諾なしで、接続することが可能となり、観光地等において徒歩で移動しながらも常時Wi-Fiに繋がっている状況を作り出すことが可能となります。

検証項目： 1 メッシュWi-Fiを活用した場合の無線インターネット回線数の合理化への効果
2 メッシュWi-Fiを活用した場合のインターネット回線へのトラフィック負荷の度合いの把握と負荷分散の方法
3 メッシュWi-Fiを活用した場合のハンドオーバーでの該当SSIDへの接続の確実性や容易性、安定性の確認
4 メッシュWi-Fiを活用した場合の安定稼働やセキュリティ面の課題や要対策事項の確認

以上

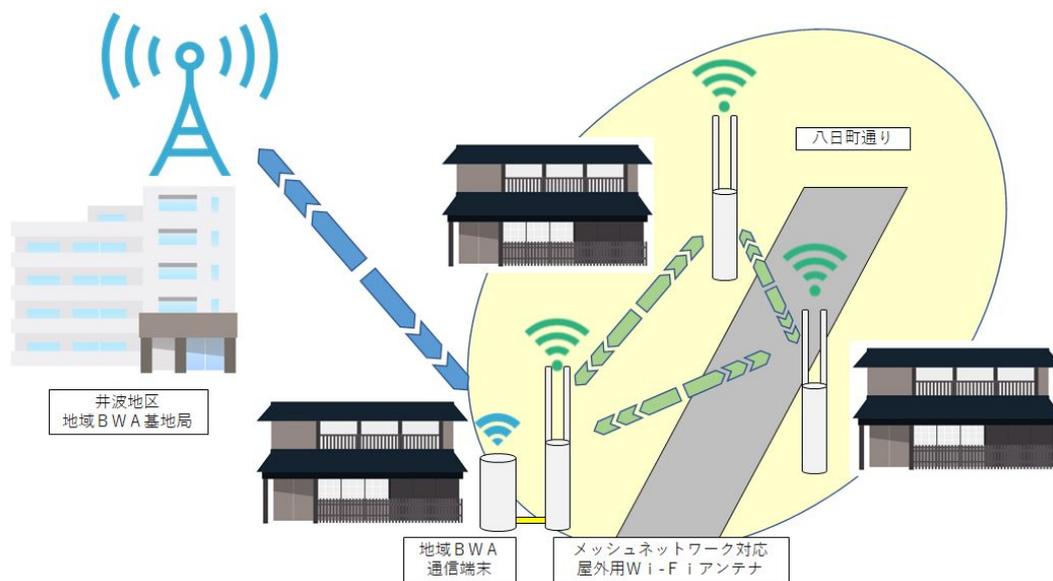
【本件に関するお問い合わせ先】
となみ衛星通信テレビ株式会社 営業課 永山
0763-22-7600 nagayama@tst-tv.jp

【用語説明】

1. 地域BWA（Broadband Wireless Access）：2008年より「地域WiMAX」として、デジタルディバイドの解消や地域の公共の福祉の増進に寄与することを目的として導入された2.5GHz帯の周波数（2,575～2,595MHz）の電波を用いた電気通信業務の無線システムです。
2. メッシュWi-Fi・ハンドオーバー：複数のWi-Fi端末を用いて1つの大きなWi-Fiネットワークを構築出来る仕組みで（メッシュWi-Fi）、ユーザが特に設定を行う必要なくデバイスが自動的に最適なWi-Fiデバイスに接続され、このデバイスが移動してもこれに追従して最適なWi-Fi接続を維持し続けることができます。（ハンドオーバー）

実証実験イメージ図

井波観光Wi-Fi メッシュネットワークイメージ



実証実験エリア

